

令和6年度当初予算額

一般会計	134億9,494万7千円	前年度比	4.8%増
国民健康保険特別会計	35億1,644万8千円	前年度比	2.3%減
後期高齢者医療特別会計	5億4,088万8千円	前年度比	11.2%増
水道事業会計	20億4,632万4千円	前年度比	35.2%増
下水道事業会計	11億4,898万4千円	前年度比	6.0%増
公設浄化槽事業会計	3,535万6千円	皆増	
合計	207億8,294万7千円	前年度比	6.1%増



令和6年度

寄居町の施策と予算

～峯岸町長 令和6年度の行財政運営に関する所信表明から～

今年度の予算は、一般会計が134億9,494万7千円(前年度比4.8%増)、その他5つの会計を含めた全体では、207億8,294万7千円(前年度比6.1%増)の予算となりました。

ここでは、町議会令和6年第1回定例会(3月議会)で行われた峯岸町長の令和6年度の行財政運営に関する所信表明から、町の主要な施策と予算の概要をお知らせします。

☎ 財務課(☎581・2121内線323)

基本方針

寄居町長に就任して1年半が経過し、世の中に大きな影響を及ぼしたコロナ禍の日々を乗り越え、最近は、より豊かな日常を取り戻すための、アフターコロナ・デフレ脱却の取り組みの成果が、観光地の賑わいや税収増、各業界の賃上げなどの形で見えはじめ、はっきりと潮目が変わってきたと感じております。

こうした中、令和5年度は、中心市街地活性化事業および、シティプロモーションの取り組み等、これまでの活動に多方面から高い評価をいただいたところであります。

また、男衾駅周辺住宅整備の着工、寄居桜沢産業団地の操業開始のほか、町内への新たな企業の進出相談が増えており、次の時代に向けた大型事業が動き出すなど新たな萌芽も着実に始まっております。

令和6年度は、昭和30年の町村合併により現在の寄居町が誕生して以来、70年を迎える節目の年であります。その節目の年に上程させていただく令和6年度予算案は、町の置かれた現状の把握や調査、将来性などの検討を真摯に重ね「課題解決を成長と楽しさにつなげたい」との思いを込めた予算案として編成したものであります。

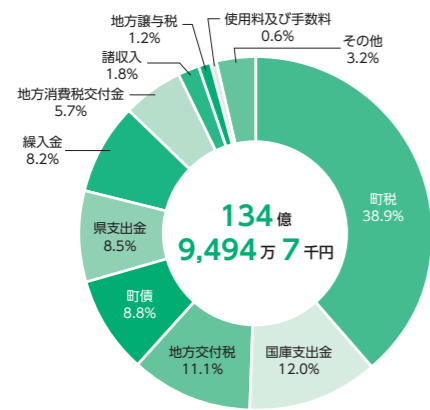
第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の3年目として、私が掲げた「少子化対策の充実・強化」「地域内経済循環の促進」「教育施策の充実・強化」「健康長寿事業の積極的展開」という4つのテーマをもとに、町民のみなさまの負託に応えるべく、事業展開を図ってまいりたいと考えております。

重点施策 町政推進と町民生活の向上のため、次の4つを重点施策として定めます。

- 1 少子化対策の充実・強化
～全世代における住みやすさ、暮らしやすさの向上～
- 2 地域内経済循環の促進
～家計を応援する諸施策を展開～
- 3 教育施策の充実・強化
～変化の大きい時代を力強く生きていける子どもたちを育む施策の充実・強化～
- 4 健康長寿事業の積極的展開
～心身の健康長寿につながる取り組みを積極的に展開～

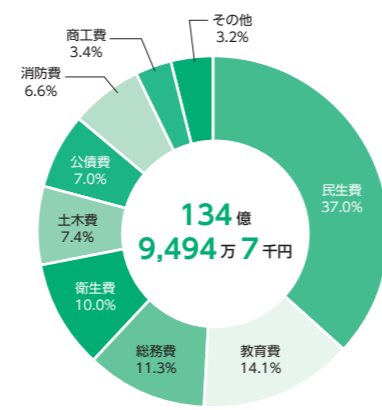
134億9,494万7千円

一般会計 歳入



町税	52億5,058万1千円
国庫支出金	16億1,859万8千円
地方交付税	15億円
町債	11億8,910万円
県支出金	11億4,272万8千円
繰入金	11億675万7千円
地方消費税交付金	7億6,500万円
諸収入	2億4,402万9千円
地方譲与税	1億6,600万円
使用料及び手数料	8,238万4千円
その他	4億2,977万円
合計	134億9,494万7千円

一般会計 歳出



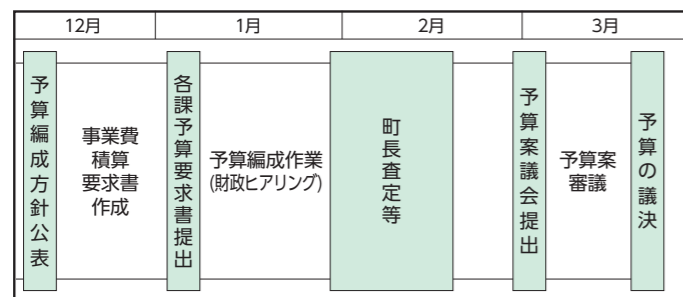
民生費	49億9,004万7千円
教育費	18億9,794万3千円
総務費	15億2,240万7千円
衛生費	13億4,816万2千円
土木費	10億490万7千円
公債費	9億5,084万6千円
消防費	8億8,495万4千円
商工費	4億5,749万4千円
その他	4億3,818万7千円
合計	134億9,494万7千円

予算編成過程の見える化



財政の透明性を向上させ、町政への関心をより一層高めるため、予算編成過程を公表します。

▶ 予算編成の流れ



令和6年度当初予算編成における、各課予算要求状況については次のとおりでした。

▶ 各課予算要求状況(一般会計)

歳入	歳出
113億2,616万2千円	143億1,681万4千円

※歳入歳出要望差額 29億9,065万2千円